

# 再 評 価 対 象 河 川 事 業 概 要

平成21年2月23日  
河 川 部

# 中部地方整備局管内 河川改修事業



## 再評価対象河川事業一覧表

事業名	事業進捗状況	社会経済情勢	費用対効果 B / C	再評価理由 (事業着手)	対応方針 (原案)
菊川	堤防整備率 82% 現在の主要整備内容 菊川下流部河道掘削(H15~) 参考 下小笠川捷水路完成(H17)	災害発生時の影響 浸水想定区域内：面積約4,700ha 人口約4.8万人(H17国調) 過去の災害実績 S57年9月洪水：浸水面積616ha 被災家屋数2,095戸 H10年9月洪水：浸水面積476ha 被災家屋数345戸 沿川の菊川市等4市は河川改修の促進を要望	6. 1	再評価後、一定期間 (5年)が経過して いる事業	継続
雲出川	堤防整備率 58% 現在の主要整備内容 須賀瀬・元町地区河道掘削事業 (H11~) 特定構造物改築事業 近畿日本鉄道新中村川橋梁改築 (H14~)	災害発生時の影響 浸水想定区域内：面積約6,500ha 人口約5.3万人(H17国調) 過去の災害実績 S57年8月洪水：浸水面積977ha 被災家屋数1334戸 H16年9月洪水：浸水面積786ha 被災家屋数120戸 沿川の津市、松阪市は河川改修の促進を要望	12. 6	再評価後、一定期間 (5年)が経過して いる事業	継続

平成20年度 継続箇所 河川改修事業の評価書

事業名	菊川（河川改修事業）		
河川名・水系名	菊川	事業主体	浜松河川国道事務所
所在地	静岡県菊川市富田地先～河口		
事業着手年度	昭和8年度	用地着手	—
再評価実施理由	再評価実施後、一定期間（5年）が経過している事業		
実施内容	築堤、護岸、河道掘削等		
全体事業費	約1,030億円（平成19年度価格）		
事業の目的	菊川市、掛川市等を洪水被害等から防御するとともに、河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持され、河川環境の整備と保全がされるよう、築堤、護岸、河道掘削等を行う。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>（1）事業をめぐる社会情勢</p> <p>①浸水想定区域内面積：約4,700ha</p> <p>②"人口：約48,000人（H17国調）</p> <p>③"資産額：約9,000億円（H19評価額）</p> <p>④重要な公共施設等：東名高速道路、国道1号、国道150号、JR東海道新幹線、JR東海道線等、掛川市・菊川市の施設（学校、小笠支所、消防署等）</p> <p>⑤災害弱者関連施設：病院13施設、幼稚園等4施設</p> <p>（2）事業の投資効果</p> <p><math>B/C = 6.1</math></p> <p>（3）事業の進捗状況</p> <p>堤防整備率（H20.3末）= 82%</p> <p>2. 事業進捗の見込み</p> <p>菊川改修事業については、大正10年に全国で初めて組織された期成同盟会から強く要望されており、河川整備基本方針策定に引き続き、速やかに学識経験者の意見を聴取し、関係住民の意見を反映させて河川整備計画を策定（H21年度予定）していく。</p> <p>3. コスト縮減の可能性・代替案の可能性</p> <p>河道掘削工事の掘削土について、旧下小笠川の埋戻材や公園整備事業等の基盤整備として有効利用し、残土処理費のコストを縮減しており、これを継続する。</p> <p>現在事業を実施している菊川は、鉄道、高速道路など主要な交通機関が集中するため、新たなダムや遊水地等の治水施設の設置の適地がなく、現在の河道整備が最も適切である。</p> <p>○対応方針</p> <p>本事業を継続する。</p>		

平成20年度 継続箇所 河川改修事業の評価書

事業名	雲出川（河川改修事業）		
河川名・水系名	雲出川	事業主体	三重河川国道事務所
所在地	左岸：津市一志町大仰地先～津市香良洲町高砂地先 右岸：津市一志町高野地先～松阪市五主町地先		
事業着手年度	昭和36年度	用地着手	－
再評価実施理由	再評価実施後、一定期間（5年）が経過している事業		
実施内容	築堤、護岸、河道掘削等		
全体事業費	約2,130億円（平成19年度価格）		
事業の目的	津市、松阪市等を洪水被害等から防御するとともに、河川が適正に利用され、流水の正常な機能が維持され、河川環境の整備と保全がされるよう、築堤、護岸、河道掘削等を行う。		
再評価の概要	<p>1. 事業の必要性</p> <p>（1）事業をめぐる社会情勢</p> <p>①浸水想定区域内面積：約6,500ha</p> <p>② " 人口：約53,000人（H17国調）</p> <p>③ " 資産額：約9,300億円（H19評価額）</p> <p>④重要な公共施設等：国道23号、中勢バイパス、伊勢自動車道、JR名松線、JR紀勢本線、近鉄名古屋線・大阪線</p> <p>⑤災害弱者関連施設：病院15施設、老人ホーム7施設、保育園19施設</p> <p>（2）事業の投資効果 B/C = 12.6</p> <p>（3）事業の進捗状況 堤防整備率（H20.3末） 58%</p> <p>2. 事業進捗の見込み</p> <p>雲出川改修事業については、地元公共団体から強く要望されており、河川整備基本方針策定に引き続き、速やかに学識経験者の意見を聴取し、関係住民の意見を反映させて河川整備計画を策定（H21年度予定）していく。</p> <p>3. コスト縮減の可能性・代替案の可能性</p> <p>河道掘削工事の掘削土について、特定構造物改築事業の盛土材として有効利用し、残土処理費のコストを縮減しており、これを継続する。</p> <p>現在事業を実施している雲出川は、下流部では鉄道、高速道路など主要な交通機関が集中するため引堤は困難であり、現有の遊水機能の整備による洪水調節施設等の治水施設の設置と現在の築堤・河床掘削による改修が最適である</p> <p>○対応方針 本事業を継続する。</p>		